

A： 高齢者も使いやすい生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要

【現況①③④⑨⑪⑬】

- 今後の高齢化社会の進展や運転免許返納者の増加に対応するため、高齢者が安心安全に移動でき、気軽に外出できるような環境を形成するため、高齢者も使いやすい生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要
- 高齢者が1人でも公共交通を利用して気軽に外出ができるよう、誰もが使いやすい公共交通体系の構築と分かりやすい周知が必要

B： 公共交通空白地や人口減少、社会情勢の変化に対応した生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要

【現況①③④⑧】

- 定住者を確保し人口の減少を穏やかにするため、利便性の高い生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要
- バス停から離れている公共交通空白地などに住んでいる方々に対しても持続可能で効率的な生活交通サービスの提供が必要
- 少子高齢化や人口減少、社会情勢の変化によって公共交通の担い手が不足する渦中で生活交通サービスを確保・維持するため、地域の交通資源の総動員や先端技術の活用を踏まえた公共交通体系の検討が必要

C： 公共交通相互の乗り継ぎなどさらなる連携強化が必要【現況②③④⑤⑥⑦⑩⑫】

- 鉄道やバスなど市内を運行する公共交通を活かし、より利便性の高い地域公共交通網とするため、ダイヤや料金、待ち合い環境、ICT化の推進などにより各公共交通相互の乗り継ぎの環境の向上を図るなど、相互の連携のより一層の強化を図ることが必要
- 周辺自治体とより連携することで、飛鳥公共交通バスや木曾岬町自主運行バスと市内公共交通における乗り継ぎをしやすくするなど、利便性の高い地域公共交通網の形成が必要

D： 地域の実情や需要に応じた、効率的かつ効果的な公共交通体系の再構築が必要

【現況①②③④⑤⑥⑦⑩⑪⑫⑬】

- 地域による公共交通の利用状況の違いや日常生活の目的地の違い等を踏まえ、それぞれの地域の実情や需要にあった運行形態の選択による持続可能な運行方法の確立が必要
- 現在の公共交通の利用状況や今後の高齢化・人口減少等の社会情勢の変化を見据え、見合った投入額での公共交通の運行方法の検討が必要

E： コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造などまちの将来像実現を支えるための公共交通網の形成が必要

【現況①②③④⑬⑭】

- コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造などまちの将来像実現を支えるために、まちづくりと連携した地域公共交通網の形成を図るとともに、地域の特性や都市機能に応じた適切な公共交通の運行方法やサービスの提供が必要

F： 継続的な利用促進策の展開と情報を入手しやすい環境の形成が必要

【現況①④⑤⑦⑪⑬】

- 現在展開している利用促進策等の取組みの継続的な実施と周知のほか、公共交通の果たす役割や重要性についても啓発することが必要
- 鉄道や公共施設、商業施設、病院、観光施設などと連携したターゲットに応じた利用促進策の展開や、多様な媒体による情報を入手しやすい環境の形成を図ることが必要

G：地域で守り育てる環境の構築と意識の醸成が必要

【現況①⑧⑬⑭】

- 持続性のある生活交通サービスの確保・維持に重要となる地域住民の利用促進やサポートの推進、商業施設や病院、企業による協力が必要
- 地域の集まりの場や協議会を活かした、存続に対する危機感等を共有する場の創出が必要

H：福祉施策との連携が必要

【現況①②③⑫⑬】

- 今後の高齢化社会の進展や運転免許返納者の増加が予想されている中、鉄道やバスなど既存の公共交通手段だけですべての移動に対応することは困難であり、福祉タクシー料金助成事業ではカバーできていない需要もあることから、福祉施策と連携した対応が必要